

鉄道ピクトリアル

2006年8月号 Vol.56 No.8 通巻No.778

<特集> スハ32系(Ⅱ)

■表紙 JR東日本が保有するスハフ32形の客室 ……編集部
高崎車両センター高崎支所 2006-4-25
キヤノンEOS-1N EF17-35mm F2.8L 絞りf8 タイムAE+1.5補正 ストロボ使用 RDPⅢ

■カラ

600mmの郷愁 —Part II 現代に生きるスハ32系— (1~7ページ)

……………編集部・千葉恵一・佐藤利生・飯塚卓治
小金井公園のスハフ32 2146 (8ページ)

……………飯塚卓治・編集部
Pictorial Color Gallery —JR最後の鉄道連絡航路— 宮島航路

……………高橋 健一… 73
阪急電鉄のヘッドマーク付き列車 2005年度版……………成瀬 伸夫… 76

[2006.5.14 交通博物館閉館/JR西日本宮島航路に新「みや
じま丸」/横浜市交4号線用10000形搬入/福井鉄道の元名
鉄車両が運転を開始/東葉高速鉄道10周年記念マーク掲出
/小田急電鉄さよなら9000形イベント開催ほか] 78~80

■グラ

スハ32系客車 形式集……………構成：藤田吾郎… 25

トピック・フォト (各地・関東・中部・関西)…………… 81

長野電鉄1000系 ロマンスクーがやってきた!……………松本 俊朗… 88

2006年5月20日 相模鉄道ダイヤ改正実施……………解説：大里信之… 90

JR東日本東京圏103系の終焉……………構成：芳田あきら・前納浩一… 92

京阪電気鉄道の話題/和歌山県の静態保存車
……………和田昌浩・和田康之ほか… 94

城端線「チューリップ号」運転/富山港線から富山ライトレールへ
……………杉下 浩生… 95

京王電鉄9000系乗入れ車の動き……………佐藤 恵香… 96

■本

今月の話題：スハ32系……………編集部… 9

スハ32系客車のあゆみ(2軸ボギー客車)—Part 2 ……岡田 誠一… 10

ぐるっと日本 スハ32系回顧……………根本 幸男… 41

スハネ30形連結の急行列車運転史……………三宅 俊彦… 48

[スハ32系客車 車歴表(Ⅱ)]……………58~72]

*

鉄道の話題……………編集部… 24

韓国鉄道「電鉄化」事情

ソウル首都圏を中心とした旅客線整備の概要と課題……………藤田 崇義… 97

瀋陽・大連付近に残る知られざる旧形客車……………服部 朗宏…104

JR四国1500形気動車……………滝 英将…110

「グリーン車学入門」への補説……………中川 浩一…114

ダブルルーフ、シングルルーフという言葉……………西野 保行…116

書評(514)『中国鉄道の気動車とその行方』……………和久田康雄…117

5月のメモ帳……………118

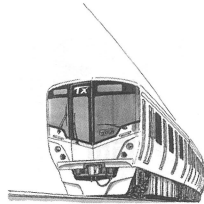
読者短信・情報ファイル……………119

後部車から……………123

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru

今月の話題



カット：山本茂樹

スハ32系

戦前期における客車を振り返ると、その発達経過の上で次の4項目が大きな要点として挙げられる。

- (1) 鋼製客車 1927(昭和2)年~
- (2) 長形客車 1929(昭和4)年~
- (3) 丸屋根化 1931(昭和6)年~
- (4) 広窓の採用 1938(昭和13)年~

こうした技術の展開から生まれた客車群が、戦時期を経て戦後の復興から国鉄全盛期にかけて全国各地で活躍した。もとより、華々しい「こだま」形電車などとは比べようもないが、鉄道輸送の発展期において幹線からローカルまで広く運用され、輸送力の維持を担った功績は忘れてはならない。上記における各代表形式は(1)が車長17m、二重屋根のオハ31形、(2)(3)が前号と本号の特集であるスハ32形、(4)が2004年7・8月号で特集したオハ35形である。本誌では同形態の車両群を基本的に一括りとして、本特集に際しても「スハ32系」と称させていただいた。

さて、スハ32系は溝形鋼の長形台枠の開発・採用により、1929(昭和4)年に製造された車長20mのスハ32600形をはじめとした客車で、軸ばねの台車を採用したことも大きな特徴である。スハ32600形はオハ31系同様の二重屋根だが、1931(昭和6)年からは丸屋根が採用されてスハ32800形の投入が開始され、この2形式が1941(昭和16)年以降スハ32形となった。いずれも側面は幅600mmの狭窓が並ぶ独特の外観である。本グループはスハ32形以下、優等車、郵便荷物車などを含め1941(昭和16)年までの新製27形式(二重屋根465両、丸屋根1,421両)を基本形式としている。今日、定期営業用としてはすでにないが、JR東日本がスハフ32形を1両保有しており、イベントなどで時折本線運転が行われており、貴重な存在となっている。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI
Oak Ochanomizu Bldg., Kanda Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan